

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学看護学部母性看護学・助産学部門では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。特定非営利活動法人キミノトナリが運営する「にんしん SOS 仙台」の試料・情報提供の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025年3月

福島県立医科大学看護学部母性看護学・助産学部門助教 木村涼子

■ 研究課題名

妊娠 SOS 相談者の実態と相談内容に関する後方視調査

■ 研究期間

2025年3月 ～ 2028年3月

■ 研究の目的・意義

（目的）本研究目的は、妊娠 SOS 相談者の実態を把握し、年齢や妊娠転帰などとの関連を検討すること、および SNS 等で交わされた相談者と相談支援員の相談内容における頻出語を抽出することです。

（意義）妊娠 SOS 相談支援に関する報告は限られているため、本研究で集積した妊娠 SOS 相談者の実態を整理し要因の関連について検討すること、および妊娠 SOS 相談者と相談支援員の SNS 等で交わした相談内容において使用された言葉の出現頻度を検討することは、今後、予期しない妊娠や妊婦健診未受診といった妊娠葛藤を抱える女性の支援方法の発展に寄与するものと考えられます。ひいては、こどもの虐待死予防につながることを期待されます。

本研究目的を遂行するためには、宮城県で妊娠 SOS 相談を運営している特定非営利活動法人キミノトナリ「にんしん SOS 仙台」からの既存資料・情報の提供が必要です。

■ 研究対象となる方

特定非営利活動法人キミノトナリ「にんしん SOS 仙台」へ2020年8月～2025年12月の間に相談された約850名の方が研究対象です。

■ 研究の方法

特定非営利活動法人キミノトナリ「にんしん SOS 仙台」の相談者の試料・情報を用いて、【研究1】では、相談者の年齢、婚姻状況、妊娠したかもしれない/妊娠に至った相手、避妊の有無、緊急避妊薬の相談の有無、DV被害の有無、精神疾患の有無、経済的困難の有無、妊娠転帰、合計連絡回数、同行支援の有無などの記述統計（平均値、割合）を算出し、その要因の関連を検討します。【研究2】では、相談員と相談支援員がSNS等で交わした内容についてトランスクリプトを作成し、年代、婚姻歴、妊娠したかもしれない/妊娠に至った相手、妊娠転帰、合計連絡回数、同行支援の有無別にテキストマイニングで分析し頻出語を抽出します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2025年3月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学看護学部母性看護学・助産学部門であり、研究責任者は母性看護学・助産学部門木村涼子です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学看護学部母性看護学・助産学部門で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの資料・情報の提供について

該当しません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学看護学部母性看護学・助産学部門 担当：木村涼子

電話：024-547-1957 e-mail：kimura@fmu.ac.jp